



震度5強以上11回

大分県中部で29日午後3時9分頃、最大震度5強を記録する地震が発生し、一連の熊本地震で震度5強以上を観測した地震は計11回となった。

ただ、今回の地震はマグニチュード(M)4.5で、11回の地震の中で最も小さい。震度5強は、震源のほぼ直上の1点だけで観測され、周辺は震度3〜1だった。震度5弱や4の観測点はなかった。気象庁は「震源が深さ7キ、浅く、

局所的に強い揺れになった」とみている。

同行によると、今回の地震も、これまでの震源域の範囲内で起きた。大分周辺での今後の地震活動について、東京大地震研究所の古村孝志教授は「地震回数が増えるかどうかは分からない」としながらも、「M4程度なら、これからは起きる。浅い所で発生すれば、その上の地域は強く揺れるので、十分に警戒してほしい」と呼びかけている。